[問] 図のように平行平面板コンデンサーが、

起電力Vの電池につながれている。極板A, B は、同じ大きさの極板で、間隔dのときの電気容量はCである。極板の半径はdよりも十分大きいものとする。これをはじめの状態として、

- $\begin{array}{c|c} & & & & \\ \hline \end{array}$
- (1)、(2)の操作を行った。以下の空欄を埋めよ。
- (1) 電池につないだまま、コンデンサーの極板の

間隔を2d にしたところ、極板間の電位差は(b) となった。また、極板Aにたまっている電気量は(v) となった。

- (2) 電池との接続を切ってから、極板の間隔を 2d にした。このとき極板 A 、 B 間の電位差は (う) となり、極板 A にたまっている電気量は (え) となった。
- (3)(1),(2)のそれぞれの最終状態のコンデンサーにたくわえられた静電エネルギーは、(2)の場合が(1)の場合より (お) だけ大きい。

